

平成20年3月期
中間決算説明会資料

平成19年11月28日
アルゼ株式会社 (JQ:6425)

【目次】

【Ⅰ】平成20年3月期 中間期連結決算概要

- ① 今中間期連結決算のハイライト
- ② 要約連結損益計算書
- ③ 要約連結貸借対照表

【Ⅱ】事業持株会社体制について

【Ⅲ】事業の現況と今後の展望

- ① パチスロ/パチンコ事業
- ② 海外カジノ向けゲーミング機器事業
- ③ カジノホテル運営事業
- ④ 第3四半期以降のトピックス

【Ⅳ】ご参考：会社概要

免責事項

本資料には当社及び関係会社の計画、見通し、目標、予想数値等の、将来に関する記述が含まれている場合がございますが、これらは現時点で入手可能な情報に基づく判断、及び仮定に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、将来における実際の業績は、今後の事業環境、経済状況、金融市場の状況等その他の様々な要因により、上記詳細に関する記述の内容と大きく異なる結果となり得ることをご承知下さい。

【 I 】平成20年3月期 中間期連結決算概要

①中間期連結決算のハイライト

前年同期比で大幅増収増益、黒字回復を達成

○売上高 37,230百万円(前年同期比+19,840百万円)

増加要因 5号機入れ替えによる需要増加

○営業利益 9,400百万円(前年同期比+10,888百万円)

増加要因 原価率の低下(50.9%→41.8%)による売上総利益増加

○経常利益 13,764百万円(前年同期比+16,496百万円)

増加要因 持分法によるウィン・リゾーツの投資利益による
営業外収益の増加

○中間純利益 15,004百万円(前年同期比+19,740百万円)

増加要因 固定資産(子会社保有の土地)売却等による
特別利益の増加

②要約連結損益計算書

単位:百万円

科 目	H19.3期 通期	H20.3期 中間期	H19.3期 中間期	前年同期比		
				差異	増減率	主な増減要因
売上高	35,580	37,230	17,390	19,840	114.1%	5号機入替需要増加による
売上原価	17,743	15,557	8,865	6,691	75.5%	売上増による原価率の低下
売上総利益	17,837	21,673	8,524	13,148	154.2%	
販売費及び一般管理費	21,043	12,272	10,012	2,260	22.6%	
営業利益又は営業損失(△)	△3,205	9,400	△1,487	10,888	—	
営業外収益	347	4,584	105	4,478	4,246.8%	ウインの持分法利益
営業外費用	3,905	220	1,349	△1,128	△83.7%	
経常利益又は経常損失(△)	△6,764	13,764	△2,731	16,496	—	
特別利益	22,965	4,688	347	4,340	1,248.0%	子会社の固定資産売却による
特別損失	4,809	1,337	1,742	△405	△23.3%	
税金等調整前中間(当期)純利益 又は純損失(△)	11,391	17,115	△4,126	21,242	—	
税金費用	2,466	1,941	459	1,482	322.3%	利益増加による
少数株主損益	△244	169	149	19	13.4%	
中間(当期)純利益又は純損失(△)	9,169	15,004	△4,736	19,740	—	
1株当たり中間(当期)純利益 又は純損失(△) [円]	114.76	187.75	△59.27	247.02	—	

③要約連結貸借対照表

① 資産

単位:百万円

科 目	H19.3期 通期
流動資産	86,043
現金及び預金	21,041
有価証券	18,108
固定資産	85,612
有形固定資産	27,078
投資その他の資産	57,528
資産合計	171,681

H20.3期 中間期	H19.3期 中間期	前年同期比		
		差異	増減率	主な増減要因
91,811	70,486	21,324	30.3%	
18,806	23,435	△4,628	△19.8%	有利子負債圧縮
18,971	—	18,971	—	ウイン配当(06年12月)運用
82,639	86,596	△3,957	△4.6%	
23,316	30,459	△7,142	△23.5%	不動産売却
58,443	54,923	3,520	6.4%	ウインの持分法利益増を反映
174,481	157,149	17,332	11.0%	

② 負債・純資産

単位:百万円

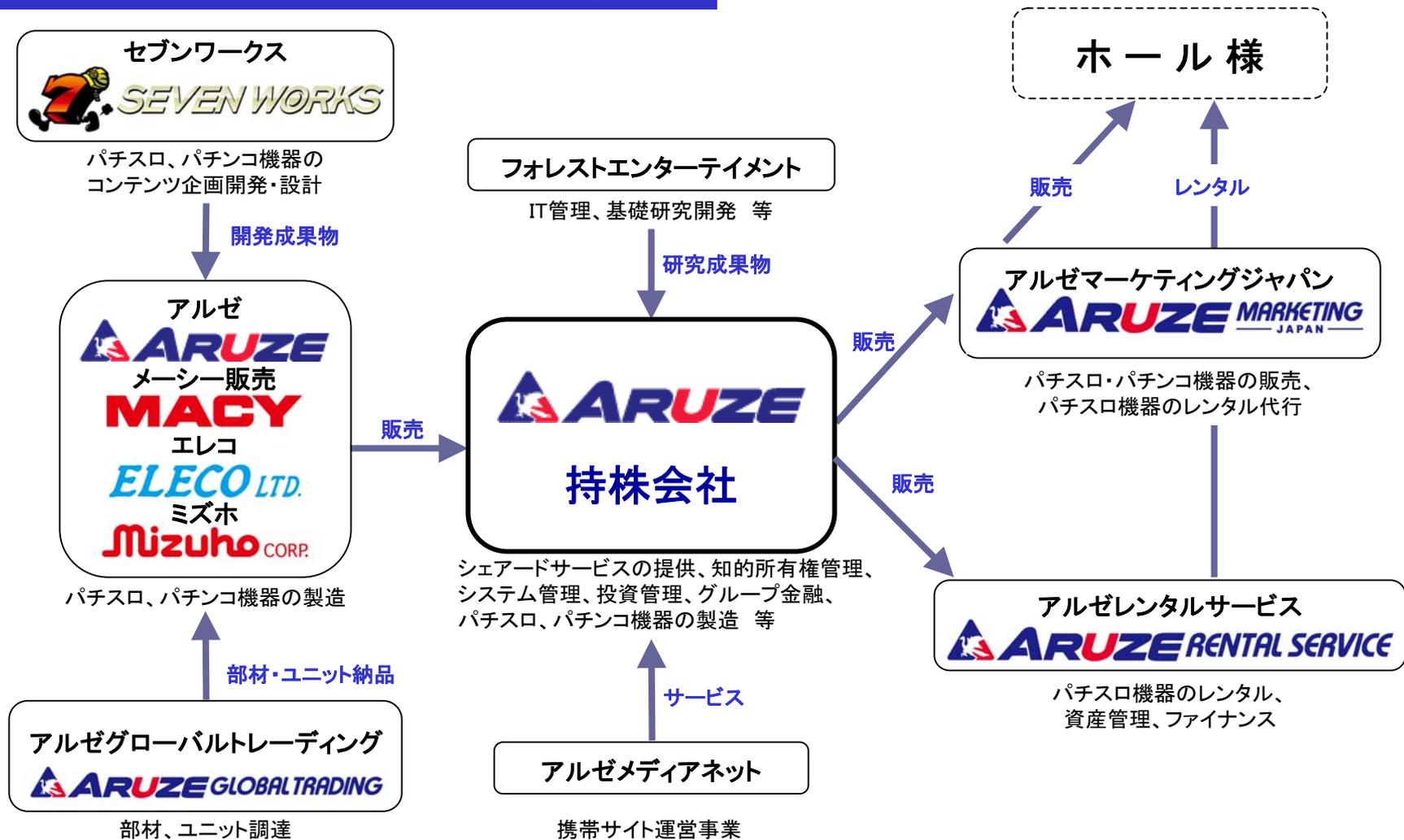
科 目	H19.3期 通期
流動負債	44,538
短期有利子負債	20,033
固定負債	10,528
長期有利子負債	7,305
負債合計	55,067
株主資本	113,465
評価換算差額等、新株予約権、少数株主持分	3,148
純資産合計	116,614
負債純資産合計	171,681

H20.3期 中間期	H19.3期 中間期	前年同期比		
		差異	増減率	主な増減要因
33,415	35,599	△2,184	△6.1%	
5,095	15,573	△10,477	△67.3%	短期借入金返済
10,800	20,479	△9,678	△47.3%	
6,717	17,321	△10,603	△61.2%	社債、長期借入金減少
44,215	56,079	△11,863	△21.2%	
124,580	99,553	25,027	25.1%	利益剰余金増加
5,684	1,516	4,168	274.9%	為替換算調整勘定増加
130,265	101,069	29,195	28.9%	
174,481	157,149	17,332	11.0%	

【Ⅱ】事業持株会社体制について

アルゼの新体制について

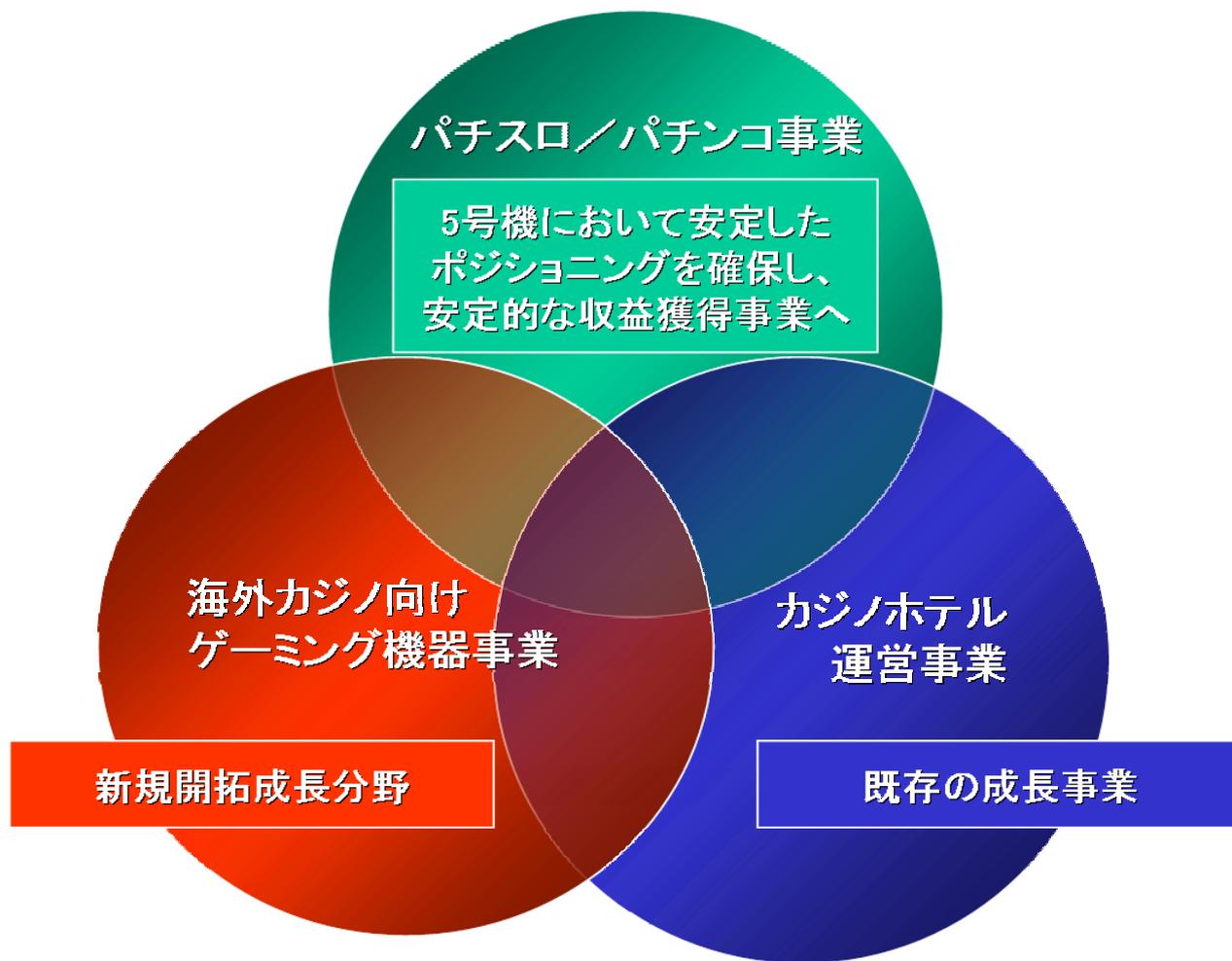
グループ各社の役割と取引の流れ



【Ⅲ】事業の現況と今後の展望

【アルゼの長期ビジョン】

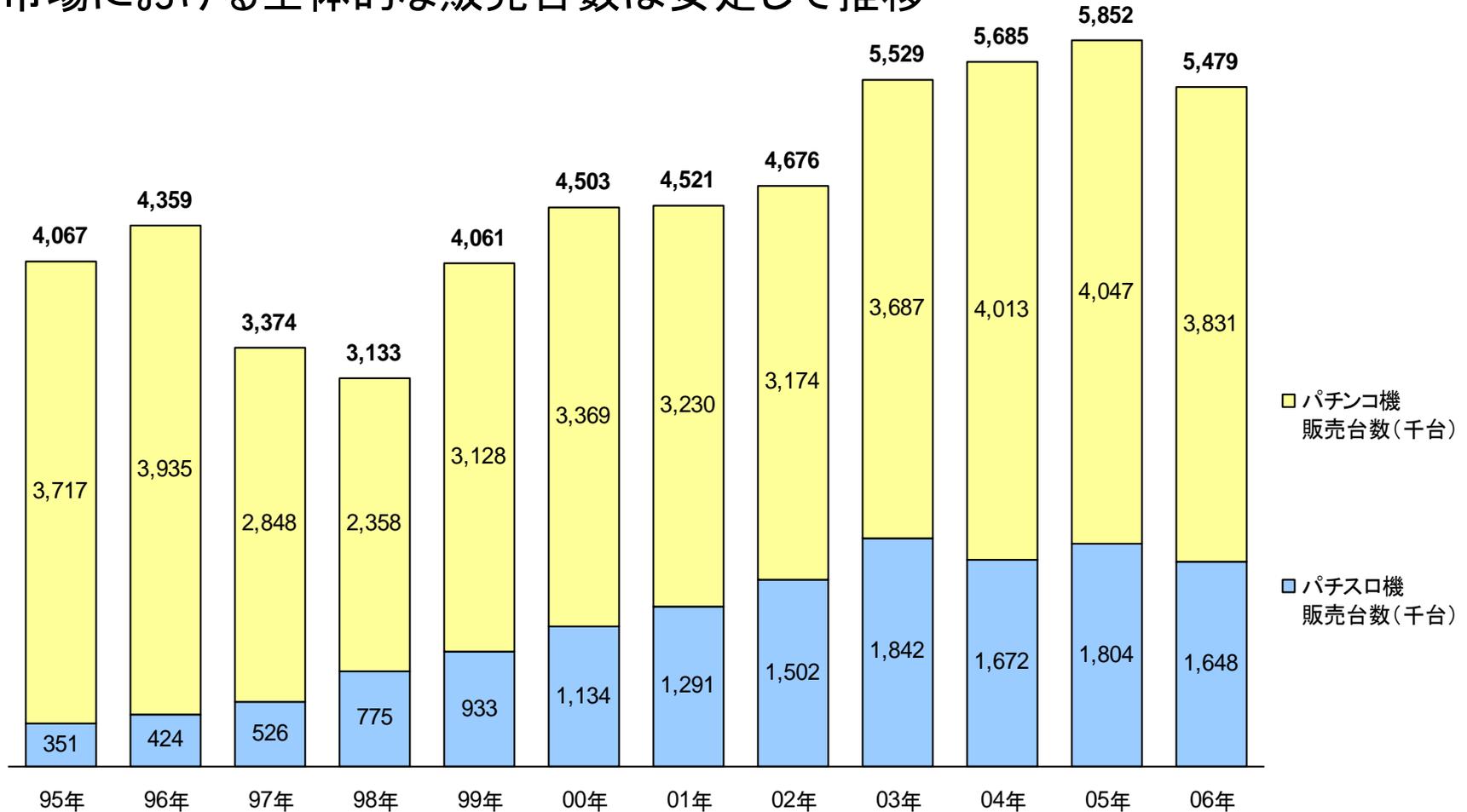
～グローバルエンターテインメント企業へ～



①パチスロ／パチンコ事業

パチスロ・パチンコ機器販売台数の推移(市場全体)

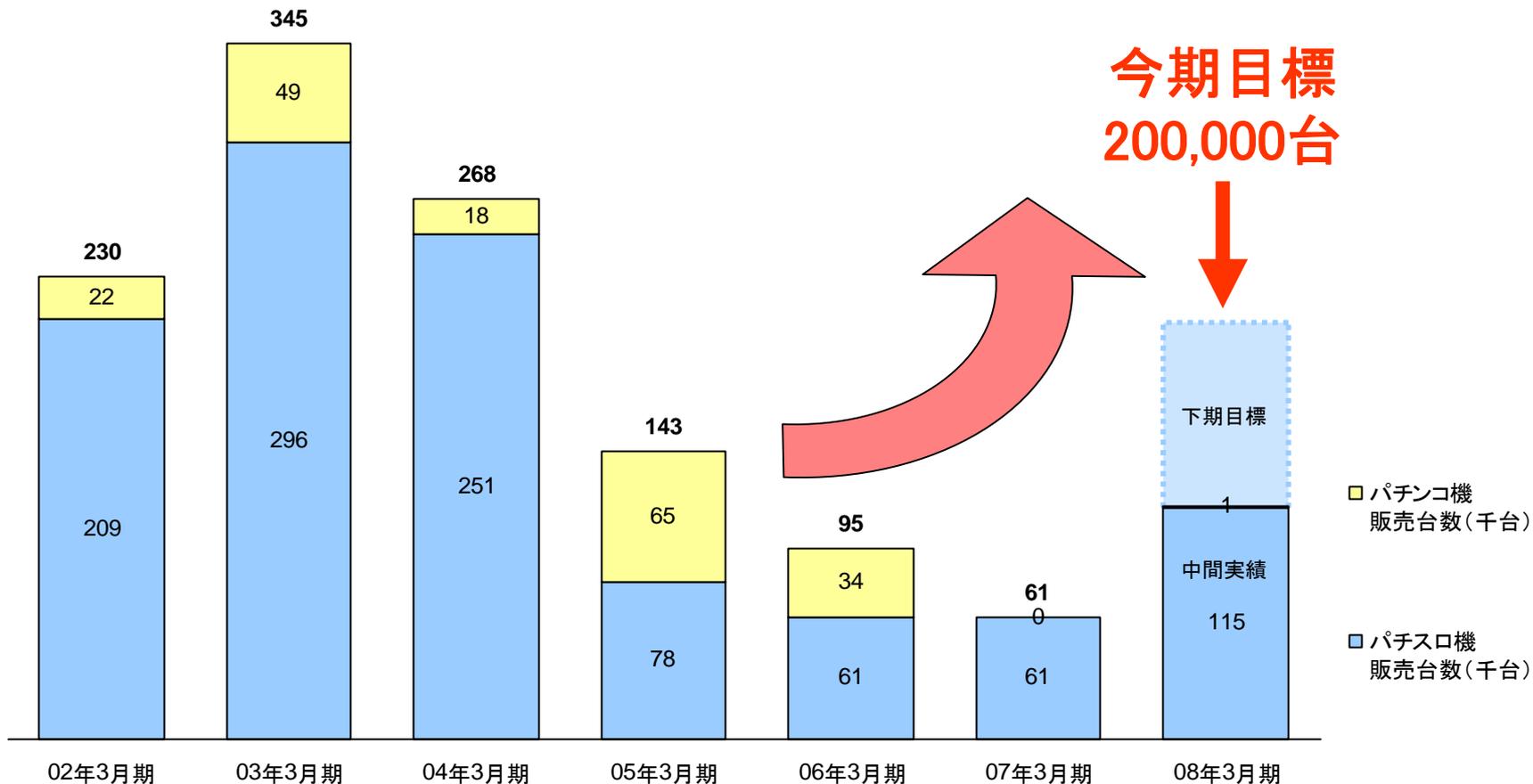
市場における全体的な販売台数は安定して推移



①パチスロ／パチンコ事業

パチスロ・パチンコ機器販売台数の推移(当社)

当中間期では過去3年間の実績を大幅に超過し、市場シェアを奪回



①パチスロ／パチンコ事業

下期は赤ドンを中心とした新タイトルの発売で、今期目標を達成する見込み

パチスロ機発売タイトル

1. 青ドン
2. スーパーキューティーハニー
3. ラブリーチェリー
4. ゲッターマウス7R
5. ちょいスゴ！！
アリババインファンタジア
6. 赤ドン
他数タイトル

上期販売・設置台数

115,000台

⇒ 第3四半期以降発売タイトル

パチンコ機発売タイトル

1. CRサンダーVSP
2. CRサンダーV150
3. タイトル未定

⇒ 第3四半期以降発売タイトル

①パチスロ／パチンコ事業

中期展望

- ・パチスロ事業において早期マーケットシェアNo.1を奪取
- ・マーケットにおける安定的な営業基盤を構築し、パチンコ事業にも本格参入を推進

■ 施策① セブンワークスによる開発体制の構築

- ・3つのモデルを中心とした魅力ある機械の安定的な供給ができる開発体制
- ・Aタイプおよび5号機実績の高評価を堅持して市場の信頼を確保

■ 施策② 金融の仕組みを活用した顧客への対応力強化

- ・市場、顧客の需要に対して安定的な機械の供給
- ・顧客のキャッシュフローを改善するシステム(レンタル)の確立
- ・債権リスクに対して債権の保全が可能な仕組みの確立

■ 施策③ 販売力向上

- ・組織を再編することにより責任を明確にして販売力を強化
- ・支店体制を組織化することで個々の役割を明確化
- ・本部機能再編により状況変化に即時対応できる機動的な体制を構築

②海外カジノ向けゲーミング機器事業

世界のスロット機器設置状況

北米市場は依然大きなマーケット規模。
アジア市場の近年の成長率は著しい。

(単位:千台)

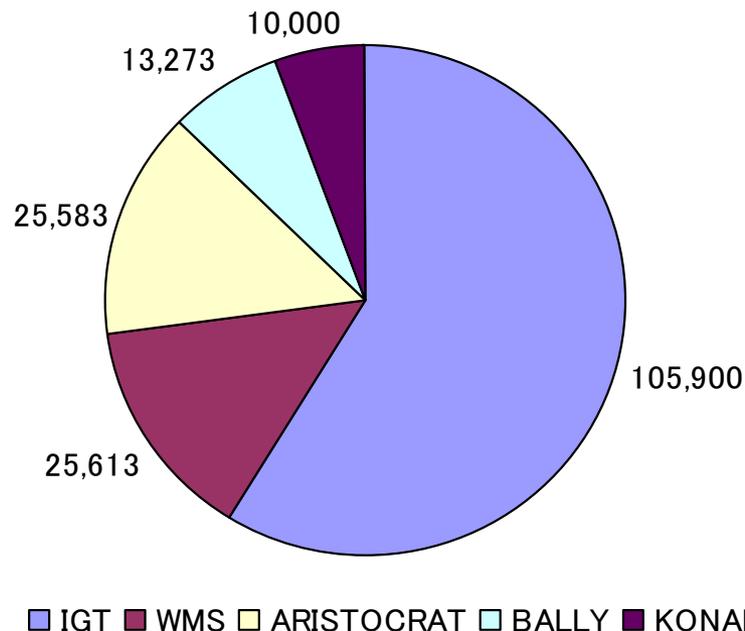
地域	2005年		2006年	
	台数	割合	台数	割合
北米	682	39.7%	716	40.2%
ヨーロッパ	643	37.4%	673	37.8%
オセアニア	221	12.9%	205	11.5%
中南米・カリブ	116	6.8%	125	7.0%
アフリカ	36	2.1%	37	2.1%
アジア	19	1.1%	23	1.3%
合計	1,718	100.0%	1,779	100.0%

出所: GLOBAL GAMING ALMANAC 2006/2007

ゲーミング機器マーケットの動向

年間1万台超の販売によって、世界市場での
トップ5入りが可能。

年間販売台数



出所: 直近の各社アニュアルレポート等より当社作成

②海外カジノ向けゲーミング機器事業

中期展望

21年3月期までに海外カジノ向けゲーミング機器事業を軌道に乗せ、翌期には世界一のゲーミング事業会社となるべく、下記の施策を実施

■ 施策① 新たな発想によるゲーム性の導入によるアルゼブランドの確立

レスキューペイ
オールスキャッター

■ 施策② 米国を中心とした海外3拠点を軸にしたグローバルな事業展開とアジア市場への販売体制

1. 北米市場 インデアンカジノ向け販売を本格的に開始
ネバダ向け販売開始による米国市場への本格的攻勢
2. 南アフリカ市場 サンライズのリプレース需要4,000台の完全取り込みを実現
3. オーストラリア市場 ニュージーランド、ニューカレドニア、豪州ビクトリア州、
サウスオーストラリア州のマーケット拡大により拡販を推進
4. アジア市場 成長著しいマカオを中心としたアジア市場には東京からの直販体制で対応

■ 施策③ 新筐体の市場投入と新タイトルの開発強化

新筐体G-enex、G-waveの市場投入

■ 施策④ 中古市場への積極的販売推進

新筐体G-enex、G-waveの販売に伴い、E-max、Millenaryを中古市場(アフリカ、アジア、南米、東欧)において積極的に販売

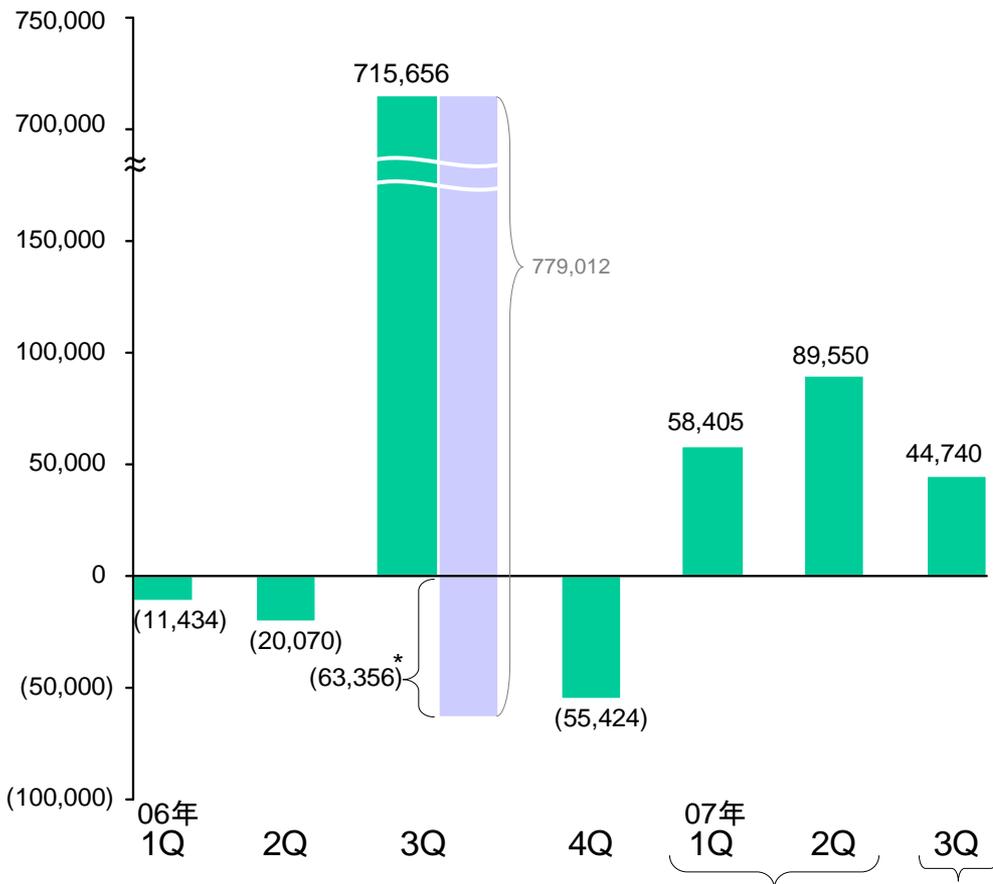
■ 施策⑤ AGA(アルゼゲーミングアメリカ)の資本力の増強

上記の本格的事業推進を図るため、現状の資本金を倍増させる増資も検討

③カジノホテル運営事業

Wynn Resortsの純利益の推移

(単位: 千ドル)



* 営業権サブライセンス売却益控除後税引前純利益

当社上半期
へ寄与

当社第3四半期
へ寄与

06年3Qはサブライセンス売却に伴う特別配当(約160億円)実施
サブライセンスの売却益(899,409千ドル)を除外すると実質的には63,356千ドルの赤字

07年1Qから黒字転換し、その後は高単価、高稼働率に支えられ継続して利益計上

		07年	1Q	2Q	3Q
ラスベガス	ウイン・ラスベガス	平均客室料	\$310	\$311	\$282
		客室稼働率	96.2%	97.0%	96.6%
	ラスベガス平均	平均客室料	\$135	\$142	\$129
		客室稼働率	89.9%	92.6%	91.5%
マカオ	ウイン・マカオ	平均客室料	\$245	\$258	\$245
		客室稼働率	84.8%	86.2%	91.9%
	マカオ平均	平均客室料	\$88	\$83	\$85
		客室稼働率	74.0%	73.4%	77.7%

(マカオの平均客室料は、1パタカ=0.12708米ドルで換算。)

07年3Qも前年に続き配当実施の決議
配当金(約160億円)は12月に受取予定

④第3四半期以降のトピックス

- トピックス① 通期業績見通しについて
- トピックス② セタTOBについて
- トピックス③ 11月22日付人事異動後の体制

【IV】ご参考

会社概要

〒135-0063

○本社 東京都江東区有明三丁目1番地25 有明フロンティアビル

○設立 1973年(昭和48年)6月

○取締役 代表取締役兼CEO 余語 邦彦

取締役会長 岡田 和生

取締役 徳田 一

取締役 堀 義人

取締役 澤田 宏之

○従業員数 単体:941名、連結:1,274名(平成19年9月末現在)

○事業所 本社、全国26支店、2工場、3海外拠点

○発行済株式総数 80,195千株(平成19年9月末現在)

○株主数 5,862名(平成19年9月末現在)

○JASDAQ 6425 <http://www.aruze.com>

○お問い合わせ 弊社IR室 担当宛てにお願いいたします。

電話:03-5530-3055(代) メール:ir@aruze.com